

## アジア・コレテラ ICAP副総裁を迎えて

### 「第4回全国キューバ友好の集い」開かれる

去る9月25日、エドゥカス東京において、当初予定されていたケニア ICAP 総裁に代わって来日したアジア副総裁を迎えて「第4回全国キューバ友好の集い」が開催されました。

キューバと連帯するさまざまな団体のメンバーが集い、全体集会、分科会を通してキューバの現状と課題について認識を深めました。



## キューバ社会主義のゆくえを探る

### 「キューバ研究会議」を開催

「キューバ友好の集い」の翌日26日、「キューバ社会主義のゆくえを探る」をテーマに、アジア副総裁を迎えて CUBAPON はじめ有志団体共催で「キューバ研究会議」が開催されました。

今年4月に開催された第7回キューバ共産党大会では、第6回党大会(2011年4月)で決定された「党と革命の政治・経済・社会指針」の評価と、「2030年までの国の発展戦略とキューバの経済・社会モデルの概念的規定」について論議されました。この2回の党大会の間に、キューバ国内では以前は禁止されていた家屋や車輛の売買が認められ、自営業の認可手続きの簡素化や範囲の拡大が進むなど、さまざまな変化が見られました。さらには、2015年7月20日、54年ぶりとなるアメリカとの歴史的な国交回復が実現し、「今後、キューバはどう変わるのか」が世界的に取り沙汰されています。こうした中、キューバがめざす社会モデルについてアジア副総裁からじかにお話を伺うことができました(2・3面に講演を掲載)。

講演の中でアジア副総裁は「党と革命の政治・経済・社会指針」を「危機回避の段階から発展段階、開発プロセスへと進んでいく、そのためのアップグレード」と表現しました。経済危機の中、国民を飢えさせないことを第一義的に進められてきた施策を発展段階に合わせて変える必要が出てきた背景には、キューバはそれだけの展望が持てる状況にあると言えます。一方で格差拡大が不安視されることについてアジア副総裁は「ショック療法を行うことは決していない」と強調されました。

キューバは今、確実に変革の季節を迎えています。それがキューバの人々が望む形で、そしてその先にあるキューバが新たな社会主義のモデルとなるよう、成功を期待したいと思います。



ルンバグループ、ムニェキートス・マタンサスとアジア副総裁、大使館の皆さん

**CKK**

## 教育訪問団報告集

好評発売中

今年2月にキューバを訪れ学校や教育機関を中心に視察したCKK(キューバ教育研究会)第2回教育視察訪問団の報告集が完成し、500円で販売しています。

ご希望の方にレターパック(送料別)で送付します。



頒価 500円

※送料は8冊まで同一料金(360円)となります。

※冊数と送付先をCUBAPON事務局までメールでお知らせ下さい。請求金額と振込先を同封してお送りします。

【アドレス】jvccp@rmail.plala.or.jp



## カンパの御礼

ICAP 代表来日に伴うカンパのご協力、ありがとうございました。カンパ金は個人(27人)団体から114,000円で、研究会議諸費、ICAP 代表の広島訪問交通費援助に充当させていただきました。

# 危機回避から発展へ



革命の成果を守り  
さらなる飛躍を求めて

## アリシア副総裁の講演



### ● 第7回キューバ共産党大会で確認されたこと

第7回キューバ共産党大会が今年4月に行われ、67万人の党員を代表して民主的に選ばれ委任された1,000名の代議員が参加した。

4つの重要な文書が提出された。一つ目は「党と革命の政治・経済・社会指針の実施結果」、二つ目は「2030年までの経済・社会・開発のための国家計画」、三つ目の「経済・社会モデルの概念化」は今回の党大会で初めて提出されたもので、アップデートの過程として私たちが望む経済・社会モデルの基本理論と本質的な性質を取り入れたものである。そして四つ目は「承認された目的の遂行における党の役割」である。

第6回党大会での指針の承認のときから、実施は容易な道のりでなく、困難や矛盾が起こりうるものだと私たちは確信していた。モデルのアップデートに求められる根本的な変換には五年以上かかると予想された。

私たちが直面してきた大きなハードルというのはメンタリティーが変化についていけないことや従来のやり方を続けたいという要求である。幹部の意識改革や社会ネットワークの修正、法の遵守などが要求された。

しかし、こうした困難にもかかわらず、集中して指針に基づいた実践が行われ、4年前の313の承認事項のうち、トータルで21%が完了し、77%が実施中、まだ実施に移されていないものは2%となっている。これらの数字はキューバが取り組みを進めてきたことの全てを反映するものではない。これまでに、130の政策が承認され、344のさまざまなレベルの法律の改訂や新たな法律の発効が承認されてきた。

### ● 危機回避から発展段階に対応したアップグレード

キューバの場合においてはいわゆる「ショック療法」を行うことは決して許されないということをはっきりさせておかなければならない。国有資産や、医療、教育、社会保障などの社会サービスの民営化の加速を提唱する新自由主義的形態がキューバに適用されることはない。

なぜキューバは経済社会モデルをアップデートする必要があるのか？それは、国が危機管理、あるいは危機を回避する段階から発展段階、開発プロセスへと進んでいく必要

があるからである。ソ連・東欧社会主義圏の崩壊による未曾有の危機は乗り切ることができた。しかし、私たちはまだまだ発展していきたいのである。そのためには、経済発展につながるやり方にアップデートしなければならない。そして、もちろん、私たちにはそれが可能である！革命は、革命が生んだ力によってさらに強化される。それは、単一政党によって決定される綿密な戦略であり、真に民主的な国家であり、団結と闘う意志、教養を兼ね備えた、経済モデルの設計と実践のキープレーヤーである国民である。これらの強みを私たちは活用しなければならない。膨大で複雑なプロセスを把握するため、私たちの道の先にあるいくつかを例にあげる。

- ・すべてのレベルでの国家と企業の機能分離
- ・国家と民間の業務を様々な形で組み合わせること
- ・一般企業と国営企業の経営モデルの強化
- ・輸出の増加と輸入減。そのためには農政の充実を図る
- ・通貨・為替の統一
- ・卸売・小売の国内市場の開発。市場での品薄、高値の状態を解消する必要がある
- ・税務システムの開発
- ・地域の発展を推進。地方自治体の強化
- ・農業の開発強化
- ・産業の復興
- ・労働生産性と経済性の向上。それにより、先にあげた輸出の増加、輸入減をめざす

### ● 経済活動の緩和と国のコントロール

第7回党大会では274の指針を承認した。第一の指針は『これからも社会主義計画が経済方針の第一の経路となり続け、変換を続ける』こと。第二の指針は『キューバの社会主義的発展の経済・社会モデルは国民経済の主要な形態として主要生産手段に関して全国民の社会主義的所有権を認める』ことに言及している。さらに、とりわけキューバの個人、法人あるいは100パーセント外国の企業による共同、合併、私有などの所有形態を認めており、すべてが相互に作用する。

第6回党大会で承認され、第7回党大会で批准された第三の指針がきっぱりと明確にしているのは、『非国有企業

は所有の集中が許されず、また富の集中も許されないので民間企業は明確に規定された制限の中で活動し、国の経済形態の補完的要素を構成し、それらすべては国によって管理される』ということである。つまり、格差が広がらないよう国がコントロールしてキープするということである。経済の非国有部門の拡大が続いており、国家雇用が2010年には81.2%から70.8%に減少した。50万人以上のキューバ人が自営業者として登録されている。内訳は主に貿易、飲食、技術サービス、小規模産業、建設で、それに非農業部門の協同組合の創設と機能が継続して試験段階にある。

また、国の発展のために重要かつ必要な資金源として、外国からの投資に関する政策が承認された。投資家に法的確実性を提供し、国家主権を守り、環境保護と天然資源の合理的な使用を提供する新しい法律が承認された。また、国内および外国投資を誘致するため、マリエル開発特区が建設された。

観光については昨年、はじめてキューバへの観光客の数が350万人を突破した。10,900部屋分のホテルが新設され、七千部屋が修復された。国外からの投資も拡大し続けているが、こうしたことはすべて、社会的に革命の成果を守ることを基本に進められなければならない。

### ● 女性と青年の役割を強化

党大会は、社会変革におけるキューバの女性の役割を今後も強化し続けるべきであることを示した。キューバの国会議員の58.8%が女性であることによってこのことが裏付けられている。彼女たちは、国の決定や資金管理を行う機関のすべてのレベルで役職についている。

政治・行政機関のすべての幹部の系統的な若返りもまた、党の優先事項として検討された。国は若い世代の形成に大きな責任を持っており、若者たちへの配慮が必要である。革命の継続性への危惧は無用である。キューバの今日的な強みの一つは、革命を作った歴史的な指導者の世代と若い世代が共存していることである。このことはキューバ革命とその成果の継続性の真の保障と言えよう。

一方でキューバの人口の高齢化は、地方から都市への移民増加と相まって、戦略的発展に対する問題となっている。「キューバの社会主義発展の社会・経済モデルの概念化」において発表された本質的な目的を達成するために、指針の実施以来、国全体のために計画システムが必要とされており、それは「2030年までの経済・社会・開発国家計画」にはっきりと記載されている。その文書は必要とされる方法的、組織的および制御的の一連の変換を促進するものである。

### ● アメリカとの国交「正常化」への課題

ラウル・カストロ議長とバラク・オバマ大統領によって2014年12月17日に発表された米国とキューバの関係回復も、キューバが進めてきたアップグレードの一部であ



アリシアさんを囲んで(前列、右から2人目)

る。55年にわたって歴代のアメリカ政権が適用してきた政策の失敗を露呈し、キューバ革命の勝利を明確にした。しかしながら国交正常化にはまだ至っていない、とい

うのは、二つの基本的な要素と、反革命的な試みの数々がいまだにキューバ国民に影響を与え続けている間は、二国間の関係の正常化について話すことは不可能であろう。基本的な二つの要素とは、50年以上にわたってキューバに課せられてきた経済・商業・金融封鎖の継続と、キューバの領土内にあるアメリカ海軍基地の存在である。どちらも違法であり、あらゆる面でキューバ国民に深刻な影響を与えている。

### ● 豊かな社会をめざして

キューバの社会経済モデルの理論的基盤と特殊性の最初の提起は、キューバ政府指導部と党の重要な決断だった。なぜならキューバ革命によって選択された道と達成のためのプロセスについて明確にすることを可能にしたからである。それらは、次のような内容を含んでいる。

- ・ 経済を構造的かつ生産的に変える
- ・ 社会のあらゆる要素を含めた、経済の高度かつ安定した成長を達成する
- ・ 社会福祉の向上を可能にする国際的な統合を実現
- ・ 豊かで持続可能な社会の構築

「豊かな社会」という言葉に言及するのは、キューバでは持続可能な競争力と社会正義をより上のレベルへ導く経済構造の変化のために、人々の能力や創造性を高めながら、精神的、物質的ニーズを総合的に満たす経済社会の発展を目指しているからである。

同時に私たちは持続可能な社会を目指している。新しい世代の未来を危険にさらすことなく、今の世代の経済、社会、環境、文化のニーズを満たす必要がある。

キューバの歴史を知ることや、全国民がアクセスできるようになった医療、教育、スポーツ、科学など、革命の成果を保護し、国の文化を強化することによってすべてを達成することが可能となる。

キューバ革命の歴史が伝えてきたホセ・マルティ、チェ・ゲバラ、フィデル、ラウルのふさわしい後継者として自らを認識し、キューバ人であるということを一ひとりひとりの国民が常に誇りに感じなければならない。そして、国際主義と、兄弟である世界の人々の正義を守るため、私たちはこれからもキューバ革命と社会主義の基本的原則を守り継続していく。

経済封鎖にNO!

# NO al BLOQUEO



10月26日、国連総会で「米国による対キューバ経済封鎖の解除を求める決議案」の採択が行われ、当のアメリカが初めて「反対」ではなく棄権しました。この結果、決議案は（193カ国中）

賛成191、反対ゼロ、棄権2（アメリカとイスラエル）となり、アメリカの対キューバ経済封鎖の解除に反対する国はついになくなりました。

アメリカが世界の声を聞き「経済封鎖解除」を速やかに実行することを望みます。

## カルロス・ミゲル・ペレイラ 新キューバ大使着任

前任のマルコス・ロドリゲス大使に替わり新たにカルロス・ペレイラ大使が着任され、去る11月14日、紹介懇親会がキューバ大使館で開かれました。

大使の挨拶に先だち、長年参事官を務められたアンドレス・ゴンザレス氏の訃報が伝えられ、全体で黙とうが捧げられました。

大使からはキューバのここ5年間の経済・社会の状況、その成果と課題、第7回党大会、新たな段階に入った日本・キューバ関係についてお話があり、「好機を最大限に活かし、さらなる友好を深めよう」と呼びかけました。



## 発行物のご案内



- 経済封鎖下を生きるカリブの社会主義XVII（2016年版）A5 80頁 ■ 頒価800円（送料込）  
～1993年以来、キューバの変わらないもの・変わったものをレポートし続ける～
- 『足跡—松矢さんと CUBAPON』（2016年6月発行）A4 32頁 ■ ご希望の方に送料含め無料でお送りします  
～2016年12月逝った CUBAPON 事務局長のキューバへの想いを偲ぶ遺稿文～
- キューバ青年の島/米自給支援プロジェクト報告集VOL6（最終号、2016年5月発行） ■ 頒価＝無料（送料120円）  
～足掛け8年のプロジェクトを振り返る～  
※ 継続支援しています。協賛金のご協力をお願いします。
- 好評発売中『キューバ探訪—15年』（細谷久美子著）B5 311頁 ■ 販価2,100円（税・送料別）  
～そこで生きる人々の姿を追って～

## ●キューバ大使からのメッセージ



キューバの友人の皆さん

わずか数時間前に国連総会で行われた封鎖撤廃決議採決の歴史的成果にたいする全キューバ国民の歓喜を皆さんと分かち合えるのを大変嬉しく思います。投票では2年続けて191カ国もの国々が我が国に対するこの不正で犯罪的な政策への反対を表明し、今回は米国政府とイスラエル政府が棄権しました。

キューバ外相が指摘したように、国連総会や他の国際会議で彼らとその孤独の票を訂正するのに24年もかかりました。それは米国の孤立と失敗の24年であり、またキューバ国民の英雄的抵抗の58年でした。

歴史的偶然によって、我が国と世界にとって歴史的なこの出来事は、私がこの親愛なる国日本に着任した数日後に起こりました。そのため、このような重要な出来事の機会に、初めて皆さんに長年にわたるご支援に感謝するためのご挨拶をお送りできるのを特に嬉しく思います。

昨日得られた結果はキューバ国民だけの勝利ではありません。我が国の尊厳と独立のための長い闘いで私達に寄り添ってくれた世界のすべての国民と政府の勝利でもあります。

この機会に、国連でキューバ外相が行った演説の文言をいくつかお送りいたします。この歴史的成果はキューバ米国間の関係正常化に向かう過程のなかで得られたものです。そしてそれは、オバマ大統領が新たにキューバに向けて他の緩和策を発表した数時間後のことでした。それらの緩和策は積極的な性格を持つものではありませんでしたが、封鎖撤廃の目的のうえでは極めて限定的なものでした。

私達は希望、あるいは善意の表明を現実と混同してはなりません。このような問題では、事実からのみ判断することができます。そして事実は、キューバに対する経済・貿易・金融封鎖が実施のうえに完全に維持されていることを明らかに示しています。

終わりに当たりまして、この不正な政策の最終的な撤廃まで続く私達の闘いのうえに、引き続き今までも増して皆さんの支援を得られるであろうと確信するものです。

親愛の抱擁をお受けください。

駐日キューバ大使

カルロス・ミゲル・ペレイラ